付属品

●ヘッドホン・イヤホン、DVDプレーヤーなどの接続コード類、アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別売です。

設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。〈　〉は個数です。

□リモコン……〈1〉（☞18ページ）（品番：N2QAYB000569）	□単3形乾電池……〈2〉（リモコン用）（☞18ページ）	□基本ガイド……〈1〉 □かんたん操作ガイド……〈1〉 □接続ガイド……〈1〉 基本ガイド（本書）　かんたん操作ガイド（別冊）　接続ガイド（別冊）
□B-CAS（ビーキャス）カード……〈1〉（☞29ページ） 表面　裏面 （カードの紛失時は☞29ページ）	□転倒・落下防止部品…〈一式〉（☞28ページ） ベルト〈1〉 木ねじ〈1〉 ねじ〈1〉 （品番：TXFKL01NTUJ）	□据置きスタンド……〈一式〉（☞24、26ページ） □電源コード……〈1〉（TH-L32C3用）（☞28ページ） （品番：K2CA2YY00123）

●乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
●付属品の品番は予告なく変更する場合があります。（上記品番と実物の品番が異なる場合があります。）
●付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。（サービスルート扱い）

ID番号		
「B-CASカード」「ID表示」（?ガイド160）で確認できる「カードID」と「デコーダーID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID（B-CASカード番号）	
	デコーダーID	

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を！　テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

こんな症状はありませんか
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●映像が連続してチラついたりユレたりする。
●ジージー・パチパチと異常な音がする。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物が入った。

ご使用中止　故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品番	TH-
販売店名	☎（　）－	お客様ご相談窓口	☎（　）－

廃棄時にご注意願います！　家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

S0111-0

基本ガイド

●ご使用前に知っていただきたいことや本機の特長などを記載しています。

Panasonic

取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

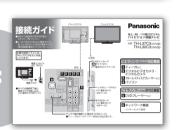
品番　TH-L37C3（37V型）
TH-L32C3（32V型）

（イラスト：TH-L37C3）

VIERA ビエラ

VIERA（ビエラ）の操作ガイドは画面に表示されます
ガイド ? を押すと表示。

よく使う操作は かんたん操作ガイド

外部機器をつなぐときは 接続ガイド

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

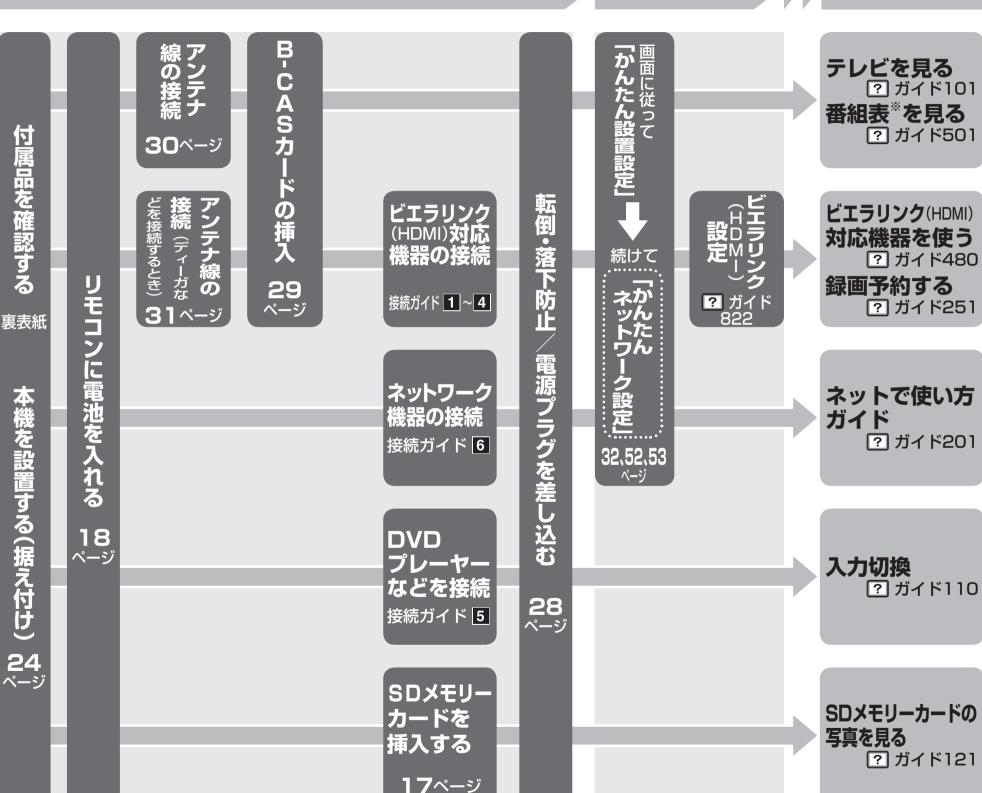
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●「基本ガイド」（本書）、「電子説明書（操作ガイド）」、「接続ガイド」および「かんたん操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（☞56～59ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。（☞28ページ）
●基本ガイドは、37V型（TH-L37C3）、32V型（TH-L32C3）共用です。
●製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

TQBA0868

もくじ

設置・接続 → 設定 → 使うとき

※本機の番組表は、Gガイドを使用しています。

テレビ画面で
使いかたが分かる!
電子説明書
（操作ガイド）

本書では「電子説明書」と記載しています。

基本ガイド
（本書）

接続ガイド
（別冊）
ディーガなどを接続するとき

よく使う操作は
かんたん操作ガイド
（別冊）

紙の取扱説明書を紛失された場合は、当社ホームページから閲覧やダウンロードができます。
（http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html）

もくじ

●この取扱説明書や電子説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
●この取扱説明書の説明イラストは、TH-L37C3を元に作成しています。

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞56～59ページ）

電子説明書（操作ガイド）

こんなことができます

準　備

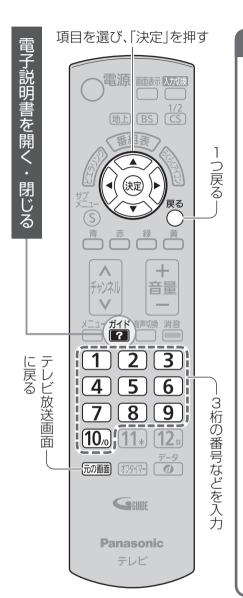
接続・設定

必要なとき

本機はインターネット（LAN）接続による双方向（データ放送）サービスに対応しています。
ただし、電話回線接続による双方向（データ放送）サービスはご利用になれません。

電子説明書(操作ガイド)の使いかた

本機は電子説明書を内蔵しています。

●テレビ画面で使いかたや解説を読むことができます。

電子説明書を表示する

テレビを見ているときに ガイド ? を押す

トップページ

●電子説明書のトップページを表示します。(もう一度押すと、テレビ画面に戻ります)

●ラストページ(前回表示した項目)を表示するか、トップページを表示するかの選択画面が表示されることがあります。

・「説明ページへ戻る」を選んで「決定」を押すと、前回表示した項目を表示します。

・「トップページを表示する」を選んで「決定」を押すと、電子説明書のトップページを表示します。

●テレビ操作画面や電子説明書などが表示されている場合は、元の画面を押して、テレビ放送画面に戻してから ガイド ? を押してください。

●本書のさらに詳しい説明を見る(3桁の番号の見かた)(☞7ページ)

●見たい情報を探す(☞7ページ)

●電子説明書の便利な機能(☞8ページ)

本書のさらに詳しい説明を見る(3桁の番号の見かた)

本書に記載の「(?ガイド○○○)」は電子説明書の情報ページの番号です。電子説明書のトップページを表示して3桁の番号を入力すると、その情報ページを表示します。

「電子説明書を表示する」(☞6ページ)で電子説明書のトップページを表示後、

本書に記載の3桁の番号を押す

●やり直すときは、「戻る」を押す。(1つ前の画面に戻る)

例)(?ガイド501) 5 → 10/0 → 1

トップページ

見たい情報を探す

電子説明書のトップページ(☞6ページ)から、**見たい項目を選び、「決定」を押す**

●①と②を繰り返し、見たい情報を確認します。

トップページ

目的でさがす

「番組を探す」、「録画する」など目的別に情報の一覧が表示されます。

言葉でさがす

探したい言葉の行の一覧を表示します。

困ったとき

困ったときの解決法やよくあるお問い合わせ「Q&A集」を紹介しています。

電子説明書(操作ガイド)の使いかた(つづき)

電子説明書の便利な機能

■電子説明書の説明を読んだあと、実際に操作する

画面上の「実際にやってみる」を選ぶと実際の操作画面に切り換わります。

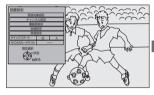
「実際にやってみる」を選び、「決定」を押す

例:「受信設定(アッテネーター)」画面

実際の「受信設定」画面を表示

■テレビの操作の途中で説明画面に切り換える

操作の途中でわからなくなったときなどに、今の画面に関連した説明を表示します。

操作中に ガイド ? を押す

例:設置設定画面を出しているとき

「関連ページを表示する」を選んで「決定」を押す

設置設定に関連した説明を表示

●「操作画面に戻る」が表示されているときは、「操作画面に戻る」を選び「決定」を押すと、再度操作に戻ることができます。

■最後に表示した電子説明書の項目を表示する

前回、最後に表示した電子説明書の項目を表示することができます。

テレビ視聴中に ガイド ? を押す

「説明ページへ戻る」を選んで 決定 を押す

前回最後に表示した項目

○最後に電子説明書を表示してから約24時間が過ぎるか、トップページで電子説明書を終了すると、電子説明書の記録が削除され、ガイド ? を押したときに電子説明書のトップページが表示されます。

■エラーメッセージの詳しい説明を表示する

エラーメッセージに ? が表示されているときに ガイド ? を押すと、詳しい説明を表示します。

電子説明書(操作ガイド)項目一覧

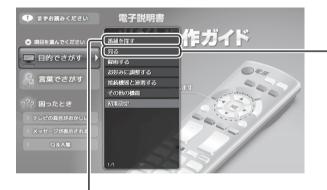
トップページ

まずお読みください

- ●電子説明書をお使いになる前に(004)
- ●SDメモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い(920)
- ●記録内容などの損害・損失について(005)
- ●著作権について(006)

目的でさがす

代表的な項目を記載します。

ガイド ? と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。

番組を探す

- ●番組表で探す(011)
- ●今放送中の番組を探す(020)
- ●関連情報で探す(090)
- ●注目番組一覧で探す(015)
- ●ジャンルで探す(060)
- ●キーワードで探す(070)
- ●人名で探す(080)
- ●番組表の使いかた
  - 画面の見かた(番組表501、1局番組表507)
  - サブメニュー(番組表515、1局番組表516)
  - 別の日を見る(502)
  - 別の放送を見る(503)
  - 表示したいチャンネル数を選ぶ(504)
  - 1局番組表を見る(505)

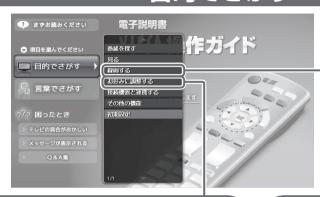
見る

- ●テレビ放送を見る(101)
  - ボタンで選局する(102)
  - 順送りで選局する(103)
  - お好み選局(104)
  - 3桁入力で選局する(105)
  - 枝番選局について
  - サブメニュー(521)
- ●今すぐ見る/見るだけ予約(510)
- ●写真を見る(121)
- ●DVD/ビデオを見る(外部機器)(110)
- ●各種情報を見る(160)
  - 放送メールを見る(161)
  - B-CASカードの情報を見る(166)
  - ID表示を見る(167)
  - ボードの情報を見る(168)
- ●データ放送を見る(190)

(次ページへつづく)

電子説明書(操作ガイド)項目一覧　(つづき)

ガイド ? と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。

目的でさがす(つづき)

お好みに調整する

- ●画質を調整する(**301**)
- ●エコナビを設定する(**865**)
- ●省エネ設定(**350**)
  - 放送終了後、自動的に電源を切る(**351**)
  - 操作しないとき、自動的に電源を切る(**352**)
- ●録画・視聴設定(**348**)
- ●タイマーで電源を切る(オフタイマー)(**358**)
- ●タイマーで電源を入れる(オンタイマー)(**357**)
- ●画面の設定を変える(**360**)
- ●画面モードを選ぶ(**921**)
- ●画面位置やサイズを微調整する(**332**)
- ●音声を調整する(**311**)
- ●音声の設定を変える(**365**)
- ●音声ガイドを使う(**411**)
- ●音声や映像信号を切り換える(**316**)
- ●システム設定(**380**)
  - 字幕の設定(**381**)
  - 選局対象(**382**)
  - タイトル表示(**386**)
  - 時計表示(**418**)
  - 表示の設定(**394**)
- ●制限項目を設定する(**397**)

録画する

- ●録画予約する
  - ディーガ(**251**)
- ●探して毎回予約する/毎週予約する(**285**)
- ●日時を指定して録画予約する(**260**)
- ●見ている番組を録画する
  - ディーガ(**485**)
- ●予約の変更・削除をする(予約一覧)(**270**)

目的でさがす(つづき)

初期設定

- ●かんたん設置設定(**701**)
  引っ越しなどで設定をやり直すとき
- ●かんたんネットワーク設定(**702**)
- ●設置設定
  - 受信対象設定(**704**)
  - チャンネル設定(**708**)
  - 番組表設定(**710**)
  - 地域設定(**715**)
  - 受信設定(アッテネーター)(**723**)
  - クイックスタート(**736**)
  - B-CASカードテスト(**739**)
- ●ネットワーク関連設定
  - IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定(**753**)
- ●省エネ設定(**350**)
- ●ビエラリンク(HDMI)設定(**822**)
- ●接続機器関連設定(**823**)
  - HDMI RGBレンジ設定(**851**)
  - HDMI画質連動設定(**843**)
  - HDMI音声入力設定(**825**)
  - ビデオ入力表示書換(**828**)
  - 外部入力スキップ設定(**837**)
- ●自動更新設定(**750**)
- ●設定リセット(**742**)

接続機器と連携する

- ●HDMI接続のディーガ画面を操作する(**481**)
- ●ケーブルテレビを操作する(**530**)
- ●スカパー！ HD対応DVRを操作する(**544**)
- ●パソコンを操作する(**495**)
- ●HDMI接続の機器を操作する
  - デジタルビデオカメラを操作する(**492**)
  - ルミックスを操作する(**555**)
  - デジタルカメラ(他社製)を操作する(**498**)
  - プレーヤーを操作する(**556**)

その他の機能

- ●らくらくアイコンを使う(**150**)
- ●ネットで使い方ガイドを見る(**201**)
- ●画面表示(**451**)
- ●戻る・元の画面(**453**)
- ●番組内容(**454**)

こんなことができます

基本の使いかた

電源 テレビをつける

入力切換 DVDやビデオを見る（?ガイド110）

ビエラリンク対応機器を使う

ビエラリンク

ディーガ

デジタルビデオカメラ

デジタルカメラ

VIERA Link ビエラリンク
ディーガの操作一覧
REC 見ている番組を録画
STOP 録画を停止する

（?ガイド480）（☞14ページ）

番組表を見る

番組表

番組表の見かた
（?ガイド501）
番組を探す
（?ガイド011）
録画予約する
（?ガイド251）

らくらくアイコンを使う（?ガイド150）

らくらくアイコン

画面下に表示

ディーガ録画一覧（ディーガ操作一覧）

スライドショー

ジャンル検索

写真一覧

注目番組

画面上で選ぶ／決定する

上へ
左へ
右へ
下へ

決定する（次の画面へ）

ガイド ? 電子説明書を見る（☞6ページ）

テレビを見る（?ガイド101）

地上 BS 1/2 CS 放送を切り換える

1 ～ 12# チャンネルを切り換える

地上デジタル放送と地上アナログ放送の切り換え
（?ガイド850）

電源 画面表示 入力切換
地上 BS 1/2 CS
番組表 ビエラリンク らくらくアイコン 決定
サブメニュー S 戻る
青 赤 緑 黄
チャンネル 音量
メニュー ガイド 音声切換 消音
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11* 12#
元の画面 オフタイマー データ
G-GUIDE
Panasonic
テレビ

●基本の使いかた

こんなことが
できます

ビエラリンク(HDMI)を使う

接続かんたん! 配線スッキリ!!

●詳しくは
(接続ガイド1～4)

対応機器につき
1本だけ!

HDMIケーブル
(別売品)

スカパー!HD対応DVR

ブルーレイディスクプレーヤー

ディーガ

パソコン

CATVデジタルSTB
(ケーブルテレビデジタルセットトップボックスの略です。)

デジタルビデオカメラ

デジタルカメラ

連動

本機のリモコン1つで操作!

本機のリモコンで機器を操作(例)

ビエラリンク を押す ➡ 「ビエラリンク」メニューから選び、「決定」を押す

VIERA Link
ビエラリンク

- ディーガの操作一覧 — ディーガの画面を操作する(?ガイド481)
- REC 見ている番組を録画 — 見ている番組をディーガにすぐに録画する(?ガイド485)
- STOP 録画を停止する

連動して操作かんたん!

電源「入」&再生

自動「入」

ディスクをセット

ディスク再生

(?ガイド484)
(電源オン連動)
ディーガにディスクを入れると、本機の電源が自動で「入」になり、再生が始まります。(設定は下記参照)

電源「切」

自動「切」

一斉電源「切」(電源オフ連動)

本機の電源を「切」にすると、接続している機器の電源も一斉に「切」になります。(設定は下記参照)

使っていない機器の電源を自動で「切」にする(こまめにオフ)
(設定は下記参照)

待機電力を最小にする(ECOスタンバイ)
(設定は下記参照)

録画予約

(?ガイド251)
本機の番組表で「ディーガ(ビエラリンク)」に録画予約すると、ディーガに録画予約情報が転送されます。

ビエラリンク(HDMI)設定のしかた

●詳しくは(?ガイド822)

① メニュー を押す
②「設定する」を選び、「決定」を押す
③「初期設定」を選び、「決定」を押す
④「接続機器関連設定」を選び、「決定」を押す
⑤「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、「決定」を押す
⑥「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、「する」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)設定

項目		
ビエラリンク(HDMI)制御	する	しない
電源オン連動	する	しない
電源オフ連動	する	しない
ECOスタンバイ	する	しない
こまめにオフ	する	しない
ケーブルテレビ電源オン連動	する	しない
ディーガの操作	通常	拡大

お好みで設定する

■ビエラリンクについてさらに知りたいときや困ったときは
(?ガイドのトップページ「困ったとき」から)

こんなことができます 音声ガイド/エコナビ　SDメモリーカード

電子説明書の使いかた（☞ 6ページ）

音声ガイド

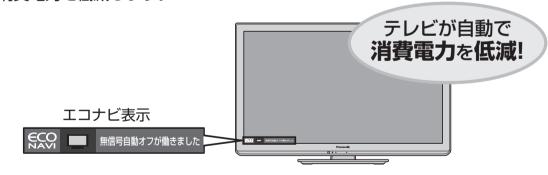
番組表の内容や予約設定、選局時、「入力切換」ボタンを押したときの切り換え先、エラーメッセージなどを読み上げます。

- 音声ガイドをもう一度お聞きになりたい場合は、リモコンの「画面表示」ボタンを押してください。
- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

音声ガイドの設定画面を表示するには、お知らせ音がするまで［メニュー］を押し続ける。

- 詳しくは（? ガイド411）

エコナビ（? ガイド865）

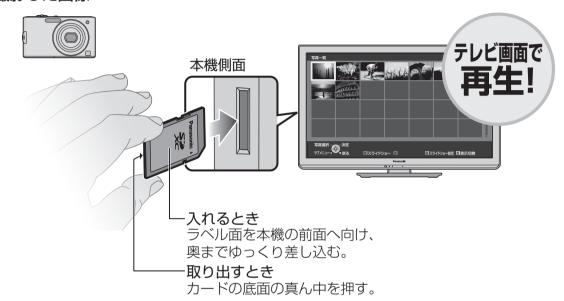
視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。

■エコナビ設定時の省エネ効果について

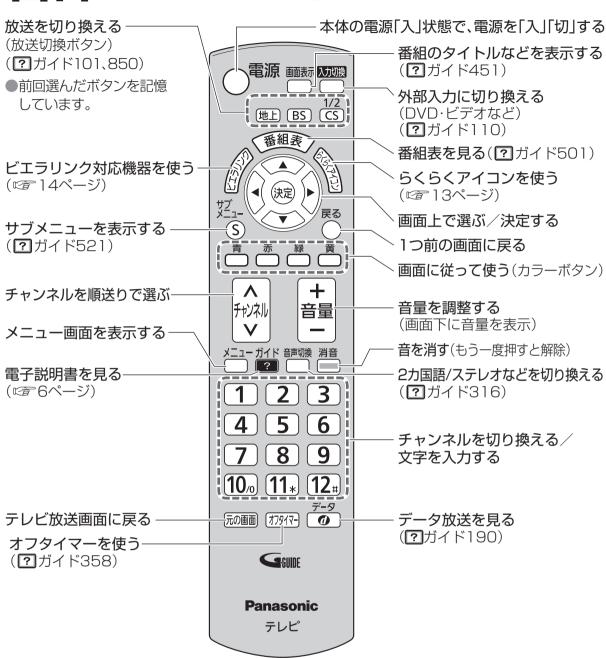
- エコナビ「オン」時は、エコナビ「オフ」時に対して、約5%消費電力を削減します。（視聴環境、使用条件により、効果は異なります。）

<測定条件>
- 映像メニュー：スタンダード（標準）
- 照度：250ルクス
- カラーバー信号受像
- 本機の電源を入れて1時間30分安定させたあとの消費電力で比較

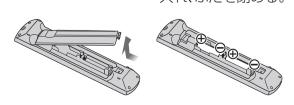
SDメモリーカード

デジタルカメラで撮影した写真（画像）をテレビ画面で見ることができます。（? ガイド121）

- FATフォーマットされたSDメモリーカード、FAT32フォーマットされたSDHCメモリーカード、exFATフォーマットされたSDXCメモリーカードが使用できます。

- miniSDメモリーカードやmicroSDメモリーカードは、アダプターごと出し入れしてください。
- 再生中は本機の電源を切ったり、SDメモリーカードを取り出したりしないでください。SDメモリーカード内のデータが破損したり、正常に動作しなくなる場合があります。
- 規格外のSDメモリーカードやSDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。

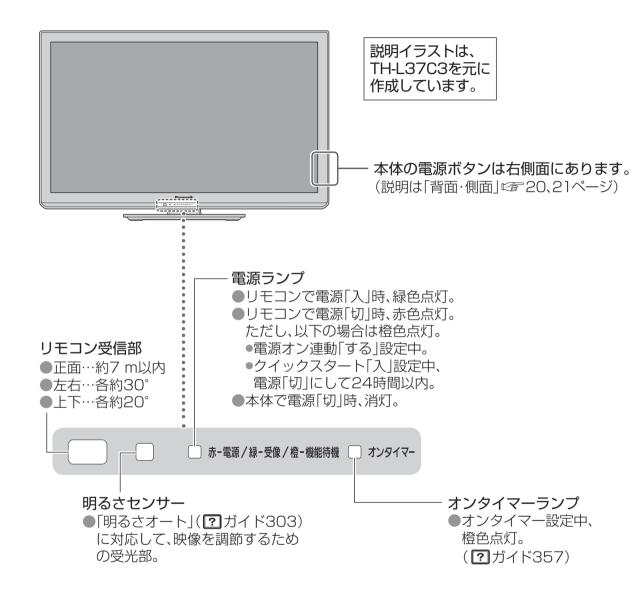
各部のはたらき（リモコン）

リモコンに乾電池を入れる

①ふたを開ける。

②単3形乾電池（付属品）を⊖側から入れ、ふたを閉める。

お願い

- ●リモコンに液状のものをかけないでください。
- ●リモコンを落とさないでください。
- ●本機のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- ●不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

（本体）

前面

お願い

- ●明るさセンサーの前にものなどを置かないでください。
  正常に動作しなくなる場合があります。
- ●リモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

各部のはたらき（本体）（つづき）

<TH-L37C3>

背面端子部
（☞ 30、31ページ、接続ガイド）

側面端子部（左側面）

SDメモリーカード挿入口
（☞ 17ページ）

ヘッドホン／イヤホン接続端子
（ステレオ：M3プラグ）

B-CASカード挿入口
（☞ 29ページ）

操作部（右側面）

チャンネル
∧ ∨ チャンネルを順送りで選ぶ

音量
＋ － 音量を調整する

放送／入力切換
放送を切り換える／外部入力にする

電源
電源「入」「切」ボタン
●「入」でリモコン操作が可能。

<TH-L32C3>

背面端子部
（☞ 30、31ページ、接続ガイド）

電源コード差し込み口（☞ 28ページ）

側面端子部（左側面）

ヘッドホン／イヤホン接続端子
（ステレオ：M3プラグ）

SDメモリーカード挿入口
（☞ 17ページ）

操作部（右側面）

チャンネル
∧ ∨ チャンネルを順送りで選ぶ

音量
＋ － 音量を調整する

放送／入力切換
放送を切り換える／外部入力にする

電源
電源「入」「切」ボタン
●「入」でリモコン操作が可能。

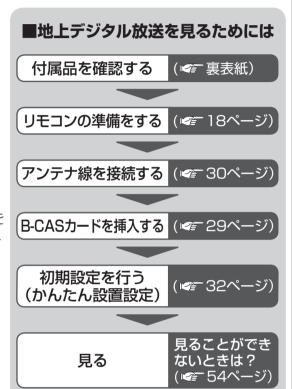
側面端子部（右側面）

B-CASカード挿入口
（☞ 29ページ）

本機で楽しめる放送

地上デジタル放送について

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。
現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。
※本機では、ワンセグ放送は受信できません。　(2010年12月現在)

●受信するためには、地上デジタルの送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。(地上アナログ放送と方向が違う場合があります。)
●地上デジタル専用のUHFアンテナやブースター、混合器などが必要になる場合があります。(従来の地上アナログ放送用UHFアンテナでは、視聴地域の特定チャンネルに対応していることがあり、受信できない場合があります。)
●受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
●放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため、受信できるエリアが限定されます。
●放送出力が増大された場合に、受信設備(ブースターなど)の再調整、変更が必要になる場合があります。
●地上デジタル放送がケーブルテレビで配信されている場合があります(CATVパススルー方式)。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

お問い合わせ先(地デジ放送について)
●総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(地デジコールセンター)
電話番号:0570−07−0101(IP電話等でつながらない場合は、03−4334−1111)
受付時間:平日…9:00〜21:00、土日・祝日…9:00〜18:00
●社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

ケーブルテレビ(CATV)を受信する場合

●ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
●さらにスクランブル放送(有料)はアダプター(ホームターミナル)が必要です。
●詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
●ケーブルテレビで地上デジタル放送が配信されている場合があります(CATVパススルー方式)。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

衛星(BS・110度CS)放送について

■BSデジタル放送

放送衛星(Broadcasting Satellite(ブロードキャスティング サテライト))を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。
WOWOW(ワウワウ)やスター・チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。
※本機では、BSアナログ放送は受信できません。

■110度CSデジタル放送

通信衛星(Communications Satellite(コミュニケーションズ サテライト))を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー! e2」への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー! e2」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

●衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は39ページをご参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
●既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
●本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

お問い合わせ先

●「WOWOW」　公式ホームページ:http://www.wowow.co.jp/
カスタマーセンター:0120−580807　受付時間 9:00 〜20:00(年中無休)
●「スター・チャンネル」　公式ホームページ:http://www.star-ch.jp/
カスタマーセンター:0570−013−111(ナビダイヤル)
(PHS・IP電話のかたは045-339-0399)　受付時間 10:00 〜18:00
•スター・チャンネル ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー! e2カスタマーセンターへお問い合わせください。
●「スカパー! e2」　公式ホームページ:http://www.e2sptv.jp/
カスタマーセンター:0570−08−1212(ナビダイヤル)
(PHS・IP電話のかたは045−276−7777) 受付時間 10:00 〜20:00(年中無休)

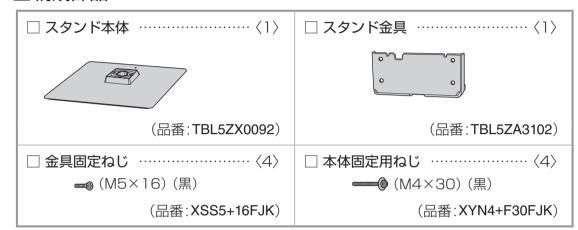
本機では、電話回線を利用した新規加入の申し込みはできません。
ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。

地上アナログ放送について

●従来からのVHF・UHF放送のことです。
●地上アナログテレビ放送は、2011年7月24日までに終了することが国の法令によって定められています。

設置する（据え付け）

本機の設置（TH-L37C3の場合）

本機には据置きスタンドが付属しています。下記の組み立てかたをよくお読みのうえ、しっかりと本機へ取り付けてご使用ください。

■構成部品

〈　〉は個数です。

□ スタンド本体 ……………………〈1〉	□ スタンド金具 ……………………〈1〉
（品番：TBL5ZX0092）	（品番：TBL5ZA3102）
□ 金具固定ねじ ……………………〈4〉 （M5×16）（黒） （品番：XSS5+16FJK）	□ 本体固定用ねじ …………………〈4〉 （M4×30）（黒） （品番：XYN4+F30FJK）

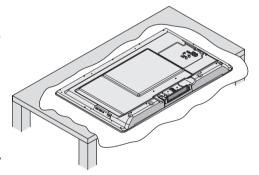
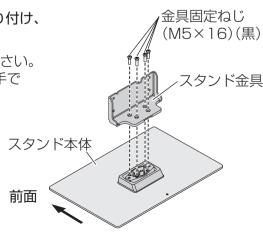
■組み立てかた

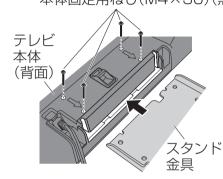
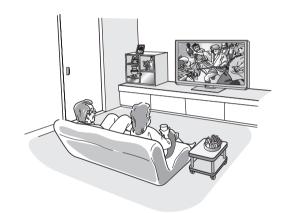
①据置きスタンドとテレビ本体を包装箱から出して、前面を下にし、毛布などを敷いた机などの作業台の上に置く

- ・包装箱の前側を作業台に向けて置いて、テレビ本体などを取り出してください。
- ・テレビ本体よりも大きいしっかりした作業台と、汚れや異物がついていない、きれいな毛布などを使用してください。
- ・テレビ本体を持つときは、液晶ディスプレイ部分を持たないでください。
- ・テレビ本体のキズや破損に注意してください。

※図のようにテレビ本体が作業台の端から少しはみ出るように置きます。

②スタンド本体にスタンド金具を取り付け、金具固定ねじで固定する

- ・ねじはしっかりと締め付けてください。
- ・スタンド金具は、倒れないように手で支えてねじで固定してください。

③テレビ本体に据置きスタンドを取り付ける

(1) 電源コードをクランパーから外し、組み立てのじゃまにならないようにする。
　・外しかたは、下記の「電源コードの外しかた」をご参照ください。
(2) 下図のように、スタンド金具をテレビ本体の溝に合わせる。
(3) 据置きスタンドを止まる位置まで差し込む。
(4) 最初に4本の本体固定用ねじを軽く締め、その後、しっかりとねじを締め付けて固定してください。

④テレビ本体を起こして設置する

■電源コードの外しかた

①クランパーの←部を押しながら(❶)、クランパーを緩める(❷)

※電源コードはシートで包装されている場合があります。

②緩めたクランパーから電源コードを取り外す

■外しかた

セット箱に収納するときなどは、電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線、転倒・落下防止部品を外したあと、必ず下記の手順通りに据置きスタンドを外してください。

①テレビ本体は前面を下にして、毛布などを敷いた机などの作業台の上に置く
（☞24ページ組み立てかた①）
②本体固定用ねじ（M4×30）（黒） 4本を取り外す
③テレビ本体から、据置きスタンドを取り外す
④金具固定ねじ（M5×16）（黒） 4本を取り外す
⑤スタンド金具を取り外す

設置する（据え付け）（つづき）

本機の設置（TH-L32C3の場合）

本機には据置きスタンドが付属しています。下記の組み立てかたをよくお読みのうえ、しっかりと本機へ取り付けてご使用ください。

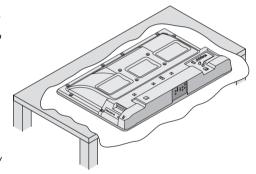
■構成部品

〈　〉は個数です。

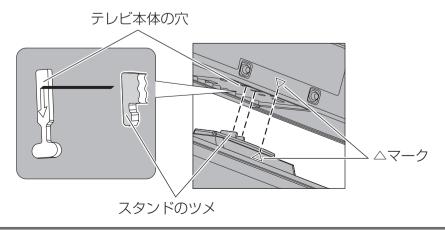
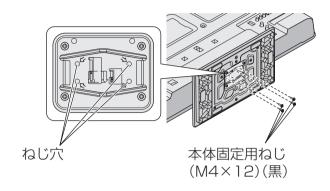
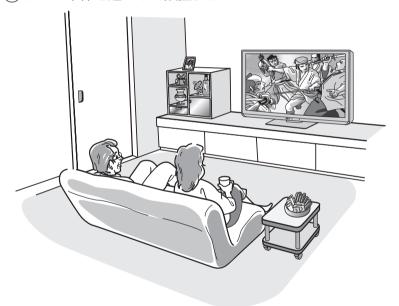
□ 据置きスタンド ………………〈1〉	□ 本体固定用ねじ …………………〈4〉
	（M4×12）（黒）
（品番：TBL5ZX0158）	（品番：XYN4+F12FJK）

■組み立てかた

① 据置きスタンドとテレビ本体を包装箱から出して、前面を下にし、毛布などを敷いた机などの作業台の上に置く

- 包装箱の前側を作業台に向けて置いて、テレビ本体などを取り出してください。
- テレビ本体よりも大きいしっかりした作業台と、汚れや異物がついていない、きれいな毛布などを使用してください。
- テレビ本体を持つときは、液晶ディスプレイ部分を持たないでください。
- テレビ本体のキズや破損に注意してください。

※図のようにテレビ本体が作業台の端から少しはみ出るように置きます。

② テレビ本体に取り付ける

(1)下図のように、△マークを目印にして据置きスタンドを合わせ、テレビ本体の穴に、据置きスタンドのツメを差し込んで引っかける

(2)最初に4本の本体固定用ねじを軽く締め、その後、しっかりとねじを締め付けて固定してください。

③ テレビ本体を起こして設置する

■外しかた

セット箱に収納するときなどは、電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線、転倒・落下防止部品を外したあと、必ず下記の手順通りに据置きスタンドを外してください。

①テレビ本体は前面を下にして、毛布などを敷いた机などの作業台の上に置く
（☞26ページ組み立てかた①）

②本体固定用ねじ（M4×12）（黒）4本を取り外す

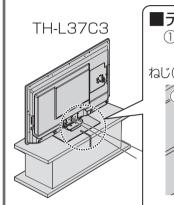
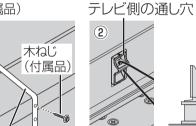
③テレビ本体から、据置きスタンドを取り外す

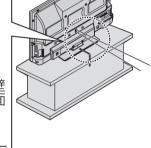
設置する（転倒・落下防止／電源コード）

安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください

地震の場合などに倒れるおそれがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。
※本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

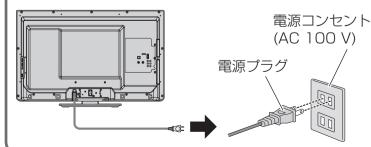
付属品の転倒・落下防止部品（☞ 裏表紙）の取り付け方法は、下記をご覧ください。
※テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

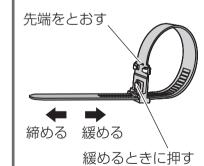
TH-L37C3

■テレビ台･壁面への固定
①テレビ台やラックの取扱説明書の指示に従って取り付ける

②テレビ側の通し穴に、丈夫なひもやワイヤー（市販品）などを通して固定する

TH-L32C3

電源コードについて

<TH-L32C3の場合>
まず付属の電源コードを本体背面にしっかり差し込んでください。

お願い
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

<TH-L37C3／TH-L32C3>
本機にアンテナや外部機器をすべて接続したあと、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
（説明イラストは、TH-L37C3を元に作成しています。）

ケーブル配線処理について

<TH-L37C3の場合>
本機背面にあるクランパーを使ってアンテナ線、接続コードを束ねてください。

お願い
画面に妨害が出る場合がありますので、アンテナ線と電源コードは一緒に束ねないでください。

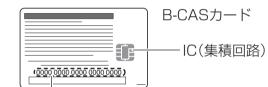
B-CAS（ビーキャス）カードの挿入

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

- カードおよび台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、必ず挿入してください。
- **挿入しないとデジタル放送が映りません。**
- 「使用許諾約款」をよくお読みください。

BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。
コピー制御を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■B-CASカードについて

- 台紙に添付されています。
  ※台紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のID番号記入欄にメモしておいてください。

■B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

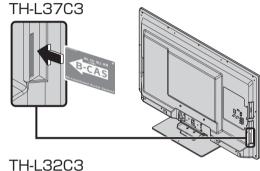
■B-CASカードについてのお問い合わせ（故障交換や紛失時など）は

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

1 本体の電源ボタンで電源を切る（☞ 20、21ページ）

2 B-CASカードを挿入する

TH-L37C3

TH-L32C3

カードの矢印表示面を背面（画面と反対側）に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■B-CASカードのテストをする

（? ガイド739）

- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

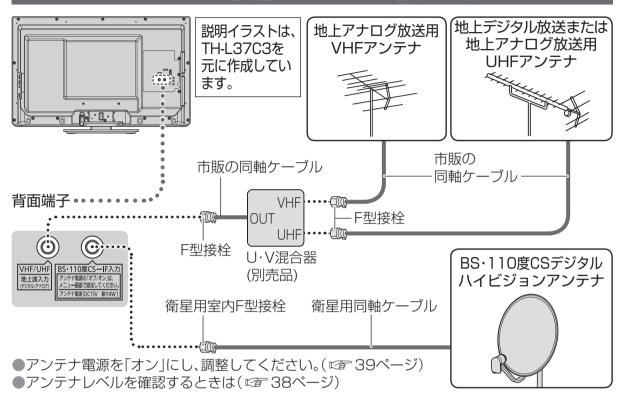
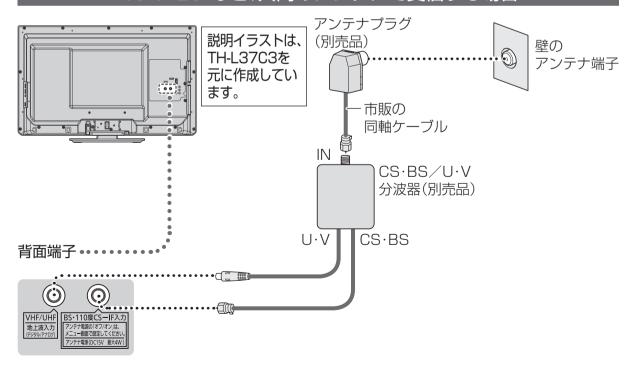
■B-CASカードを抜くとき

➡ （1）本体の電源ボタンで「切」にする。
（2）B-CASカードを抜く。

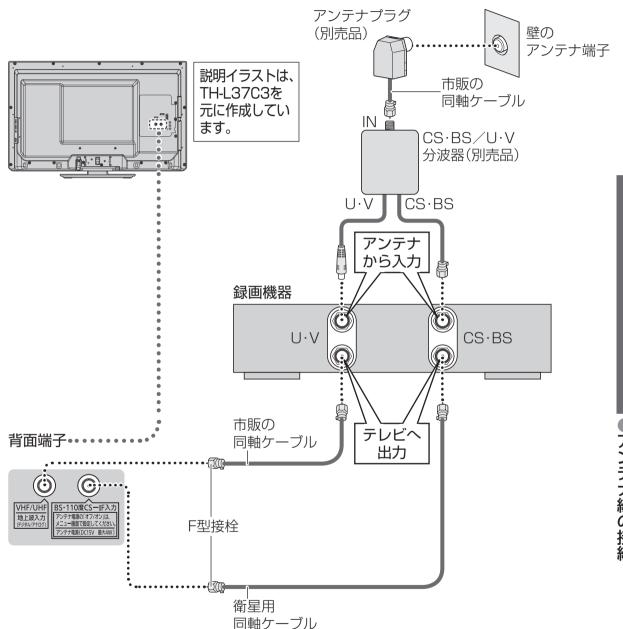
- B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

アンテナ線の接続（接続完了後に電源プラグを差し込む。（☞28ページ））

一戸建など、個別のアンテナで受信する場合

●アンテナ電源を「オン」にし、調整してください。（☞39ページ）
●アンテナレベルを確認するときは（☞38ページ）

マンションなど、共同のアンテナで受信する場合

●アンテナ電源を「オフ」にしてください。（☞39ページ）

ディーガなどの録画機器を接続するときの一例

マンションなどの共同受信の場合に、地上デジタル、BS・CSチューナー内蔵の録画機器を接続するときの例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。

お知らせ

●接続図は一般的な例であり、お客様によって新たにご準備いただくもの(ケーブル・分配器・分波器・アンテナプラグなど)は変わります。詳しくは販売店へご相談ください。
●地上デジタル放送／地上アナログ放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、アッテネーターを「オン」にしてください。（☞38ページ）

設置設定をやり直す かんたん設置設定

電子説明書の使いかた（☞6ページ）

こんなときに…
●引っ越しなどでテレビ放送の受信地区が変わったとき、受信状況が変わったときなどに必要な設定をやり直します。

テレビ画面に戻る

画面に従って順に設定する

1 メニュー を押す

2 「設定する」を選び、「決定」を押す

VIERA メニュー
- 画質を調整する
- 音声を調整する
- 番組を探す/予約する
- **設定する**

3 「初期設定」を選び、「決定」を押す

- 画面の設定
- 音声の設定
- システム設定
- **初期設定**

4 「かんたん設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す

（3秒以上）

- **かんたん設置設定**
- かんたんネットワーク設定
- 設置設定
- ネットワーク関連設定

初期設定画面

5 画面の指示に従って操作する

■お買い上げ時の状態からやり直すとき
①「かんたん設置設定」の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。
②本体の電源ボタンで「切」にし、再度「入」にする。

ネットワークの設定をやり直すとき

上記の手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。

- かんたん設置設定
- **かんたんネットワーク設定**
- 設置設定
- ネットワーク関連設定

個別にやり直すとき

■チャンネル設定
かんたん設置設定でうまくできなかったときや、リモコンの数字ボタンへの割り当てなどを、お好みで変えたいときに行います。
衛星デジタル放送のチャンネルは工場出荷時に設定されていますが、お好みで変更できます。

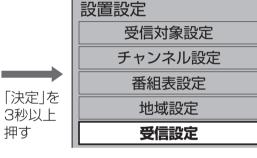
初期設定画面

「決定」を3秒以上押す

●地上デジタル放送のチャンネル修正※（☞34ページ）
●衛星デジタル放送のチャンネル修正（☞35ページ）
●地上アナログ放送のチャンネル修正（☞36ページ）

■受信設定（個別アンテナ使用時）
アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとにアンテナレベル（受信する電波の質）を確認できます。

初期設定画面

「決定」を3秒以上押す

●地上デジタル放送／地上アナログ放送の受信設定（☞38ページ）
●衛星デジタル放送の受信設定（☞39ページ）

■アッテネーター
地上デジタル放送／地上アナログ放送の場合、放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「オン」に設定し、電波を弱めて安定させます。（☞38ページ）

■受信対象設定
リモコンの 地上 を押したときに視聴する放送（地上デジタル放送／地上アナログ放送）を変更できます。（? ガイド850）
変更したときは「チャンネル設定」が必要な場合があります。（☞34、36ページ）

■上記以外の項目
電子説明書をご覧ください。（? ガイド703）

※新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変化したときは、再スキャンを行ってください。（☞35ページ）

お知らせ
●地上アナログ放送のチャンネル一覧表・放送局コード一覧表、地上デジタル放送のチャンネル一覧表・Gガイド地域一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。（2010年12月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html を開く。
テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→品番選択の「TH-○○○」→取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ

設置設定をやり直す

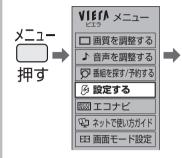
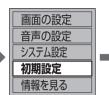
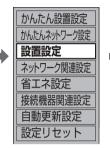
チャンネル修正（地上デジタル放送／衛星デジタル放送）

まず、チャンネル設定画面を表示させる

メニュー 押す

「設定する」を選び、「決定」を押す

「初期設定」を選び、「決定」を押す

「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す

「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

設置設定
- 受信対象設定
- **チャンネル設定**
- 番組表設定
- 地域設定
- 受信設定
- クイックスタート　切　入
- B-CASカードテスト　－－

地上デジタル放送のチャンネル設定（初期スキャン）

受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、改めて自動でチャンネル設定します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定
- 地上アナログ
- **地上デジタル**
- BS
- CS1

②◀ ▶で「初期スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　再スキャン　マニュアル

③◀ ▶でお住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域選択　東京

④◀ ▶で「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

受信帯域選択
通常は「UHF」を選択してください。
ケーブルテレビ（CATV）等で、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できることがあります。
（詳しくはCATV会社にご確認ください）
UHF　全帯域

- ●通常は「UHF」を選んでください。
- ●「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。
- ●今までの設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直します。
- ●スキャンには10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

⑤▲▼で内容を確認する

- ●修正するときは（☞35ページ「マニュアル」手順③、④）
- ●画面下部に「電波が強すぎます。」と表示された場合は、アッテネーターを「オン」に設定（☞38ページ）し、「再スキャン」（☞35ページ）を行ってご確認ください。

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認　アッテネーター オフ

リモコン	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	
1	011	NHK総合	テレビ	76	高
2	021	NHK教育	テレビ	74	高
3	----				
4	041	日本テレビ	テレビ	77	高

⑥戻る ◯ を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタル放送のチャンネル設定（再スキャン）

地上デジタル放送の受信状況が変わったときに、受信できる局を自動で追加します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀ ▶で「再スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　**再スキャン**　マニュアル

- ●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。
- ●スキャンには10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認　アッテネーター オフ

リモコン	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	
1	011	NHK総合	テレビ	76	高
2	021	NHK教育	テレビ	74	高
3	----				
4	041	日本テレビ	テレビ	77	高

③▲▼で内容を確認する

- ●修正するときは（☞下記「マニュアル」手順③、④）

④戻る ◯ を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタル放送のチャンネル設定（マニュアル）

地上デジタル放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀ ▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　再スキャン　**マニュアル**

③▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、「決定」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ

④◀ ▶で「CH」のチャンネル番号を変える

リモコン番号設定　1
- CH　011
- チャンネル名　NHK総合・東京

⑤戻る ◯ を押して終了する

■行ごと入れ換えたいとき

1）手順②の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送のチャンネル設定

①チャンネル設定画面から▲▼で「BS」「CS1」「CS2」のいずれかを選び、「決定」を押す

②▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、「決定」を押す

BSチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ

③◀ ▶で「CH」のチャンネル番号を変える

リモコン番号設定　1
- CH　200
- チャンネル名　スター・チャンネル

④戻る ◯ を押して終了する

■行ごと入れ換えたいとき

1）手順①の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

設置設定をやり直す

チャンネル修正（地上アナログ放送）

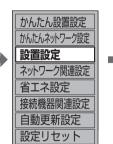
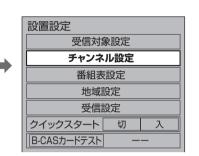
まず、チャンネル設定画面を表示させる

メニュー
押す

「設定する」を選び、「決定」を押す

VIERA ビエラ メニュー
画質を調整する
音声を調整する
番組を探す/予約する
設定する
エコナビ
ネットで使い方ガイド
画面モード設定

「初期設定」を選び、「決定」を押す

「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す

「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

地上アナログ放送のチャンネル設定（オート）

受信できる局を自動で探します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
CS1
CS2

②◀ ▶で「オート」を選び、「決定」を押す
●自動的に設定し直します。
（数分程度、映像が乱れます）

マニュアル **オート**

③▲▼でチャンネルを選び、内容を確認する

地上アナログチャンネル設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	――
2	14	14	――
3	3	3	――
4	4	4	――

④放送局名を設定する（☞37ページ手順④、⑤）

⑤ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

地上アナログ放送のチャンネル設定（マニュアル）

地上アナログ放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
CS1
CS2

②◀ ▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

マニュアル オート

③▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選ぶ

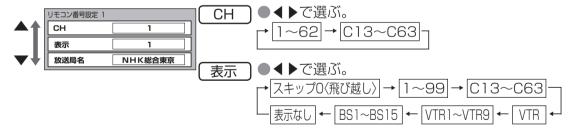
地上アナログチャンネル設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

■行ごと入れ換えたいとき
1）手順②の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

■映りが悪いとき（微調整）
1）手順②の操作後、▲▼で調整するチャンネルを選び、「メニュー」を3秒以上押す。
2）◀ ▶で見やすくなるように調整する。（10秒間操作しないと、元の画面に戻る）
3）「戻る」を押す。

④「決定」を押す

⑤▲▼で項目を選び、◀ ▶でそれぞれ修正する

放送局名
●◀ ▶で放送局を選ぶ。
●「決定」を押して入力モードにし、放送局コードを入力しても選ぶことができます。
（一覧表は以下のホームページでご覧になれます。
http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html）
（☞33ページ「お知らせ」）

⑥ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

受信設定（地上デジタル放送／地上アナログ放送／衛星デジタル放送）

まず、受信設定画面を表示させる

メニュー 押す → 「設定する」を選び、「決定」を押す → 「初期設定」を選び、「決定」を押す → 「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す → 「受信設定」を選び、「決定」を押す

VIERA メニュー			設置設定
画質を調整する	画面の設定	かんたん設置設定	受信対象設定
音声を調整する	音声の設定	かんたんネットワーク設定	チャンネル設定
番組を探す/予約する	システム設定	**設置設定**	番組表設定
設定する	**初期設定**	ネットワーク関連設定	地域設定
エコナビ	情報を見る	省エネ設定	**受信設定**
		接続機器関連設定	

●地上デジタル放送／地上アナログ放送の場合は、設定したい放送に切り換えてから受信設定画面を表示させてください。（切り換えかた ? ガイド850）

地上デジタル放送／地上アナログ放送の受信設定

アッテネーターを設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

①受信設定画面から▲▼で「地上」を選び、「決定」を押す

受信設定
地上
衛星

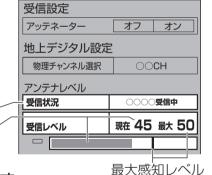
②必要であれば「アッテネーター」を設定する

●アッテネーターについて（☞33ページ）

■地上デジタル放送の場合

手順③以降に進んでください。

③アンテナレベルを確認する

●地上アナログ放送選局中に表示してもアンテナのレベルは表示されません。

④▲▼で「物理チャンネル選択」を選び、「決定」を押す

⑤ 1 〜 10/0 で物理チャンネルを入力し、「決定」を押す

●間違えたときは「黄」ボタンを押します。

●CATV経由の地上デジタル信号のレベルも表示できます。例えば、「全帯域」（☞34ページ手順④）を選んで、CATVでの「C20」チャンネルを選択する場合は、緑 2 10/0 と入力します。

（C20の「C」は、リモコンの「緑」ボタンで入力／削除できます。）

例 受信帯域選択が「UHF」の場合

物理チャンネル入力
①〜⑩、⑪ボタンを使って、物理チャンネルを2桁入力し、決定ボタンを押してください。
22CH

入力した物理チャンネルのアンテナレベルを表示

⑥アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送の受信設定

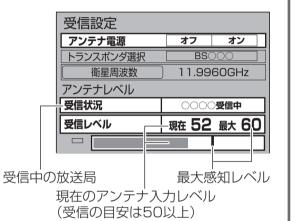
衛星アンテナが個別の場合、アンテナ電源の「オフ」「オン」を設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

①受信設定画面から▲▼で「衛星」を選び、「決定」を押す

②アンテナレベルを確認する

③▲▼で「アンテナ電源」を選び、◀▶で「オン」を選ぶ

●「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。（ブースターなどからコンバーターへ電源を供給しているときは「オフ」にしてください）

●「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は変えると、視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変えないでください。

④アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

■アンテナレベルについて

●アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。

●アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

●現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。
地上デジタル放送の場合は、さらに「決定」を押すと、受信状況の一覧を確認できます。

●BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。

■物理チャンネルについて

●地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており（13〜62ch）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

お知らせ

●アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

外部機器の接続・設定

ビエラリンク(HDMI)対応機器

接続する機器	ケーブル [接続する端子]	注意事項	参照
ディーガ	HDMIケーブル [HDMI]	●HDMIケーブルについて ・当社製を推奨します。(☞接続ガイド) ・HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。 ●接続後は必ずビエラリンク(HDMI)を有効にしてください。(「ビエラリンク(HDMI)制御」 ? ガイド822)	接続ガイド 1
CATVデジタルSTB			
スカパー!HD対応DVR			
デジタルビデオカメラ	HDMIミニケーブル [HDMI]	●最初に接続したときは「入力切換」を押して、HDMI入力に切り換えてください。 ●機器の操作をしたときに、本機の電源を「入」にするには「電源オン連動」を設定してください。(? ガイド822) ●HDMI端子に同じ種類のビエラリンク(HDMI)対応機器を複数接続した場合は、番号の小さいHDMI端子に接続された機器が、ビエラリンク(HDMI)の操作対象になります。	接続ガイド 2
デジタルカメラ			
ブルーレイディスクプレーヤーなど	HDMIケーブル [HDMI]		接続ガイド 3
パソコン			接続ガイド 4

■HDMI端子について

●HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

●HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続するだけで、高画質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。アナログ音声をお使いになる場合、HDMI とビデオ入力2(TH-L32C3の場合はビデオ入力)の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」が必要です。(? ガイド823)

●対応している映像信号
480i、480p、720p、1080i、1080p
(24 Hz/59.94 Hz/60 Hz)

●対応している音声信号
種類:リニアPCM
サンプリング周波数:48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

ビエラリンク(HDMI)が正しく動作しないときは

接続した機器を取り換えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。
HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認のうえ、下記の操作をしてください。

①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す

② 入力切換 を押して、接続・設定を変更したHDMI入力の映像を確認する

③本機のリモコンで機器を操作してみる(? ガイド481)

お好みで設定できます「ビエラリンク(HDMI)設定」(? ガイド822)

■電源オン連動
ディーガなどの操作に連動して本機の電源を入れます。

■電源オフ連動
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の電源を切ります。

■ECOスタンバイ
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の消費電力を最小にします。

■こまめにオフ
使わないときに、機器の電源を個別に自動的に切ります。

■ケーブルテレビ電源オン連動
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、CATVデジタルSTBの電源を入れます。

■ディーガの操作
ディーガ視聴中、本機のリモコンで操作できるボタンを増やします。

■テスト(ディーガ電源オン/ディーガ電源オフ)
ディーガの動作を確認できます。

■メニュー表示方法
「ビエラリンクメニュー」の表示形式を変更します。

外部機器の接続・設定（つづき）

ビエラリンク（HDMI）非対応機器

接続する機器		ケーブル　[接続する端子]	注意事項	参照
DVDプレーヤーなどの再生機器	D端子付き	D端子映像コード[D4映像入力] ステレオ音声コード[ビデオ入力1]（TH-L32C3の場合はビデオ入力）		接続ガイド 5
	D端子なし	映像/音声コード[ビデオ入力1、2]（TH-L32C3の場合はビデオ入力）		
	HDMI対応	HDMIケーブル[HDMI]	●HDMI端子について（☞40ページ） ●DVI対応機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルを使い、ビデオ入力2（TH-L32C3の場合はビデオ入力）の音声入力端子にステレオ音声コードを接続し、「HDMI音声入力設定」を行ってください。（[?]ガイド823）	
ビデオカメラ デジタルカメラ		映像/音声コード[ビデオ入力1、2]（TH-L32C3の場合はビデオ入力）	●専用ケーブルが必要な場合があります。	

お好みで設定できます

■HDMI RGBレンジ設定
（[?]ガイド823）
HDMI端子から入力された映像の暗い部分を見やすく設定します。

■HDMI画質連動設定
（[?]ガイド823）
HDMI端子から入力された映像に合わせて、画質を調整します。

■HDMI音声入力設定
（[?]ガイド823）
DVI対応機器でビデオ入力2（TH-L32C3の場合はビデオ入力）の音声入力端子に接続したとき、アナログ音声が楽しめます。

■ビデオ入力表示書換
（[?]ガイド823）
「入力切換」ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変えます。

■入力自動スキップ
（[?]ガイド823「外部入力スキップ設定」）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、接続していない端子を飛ばします。

■HDMIスキップ
（[?]ガイド823「外部入力スキップ設定」）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「HDMI」を飛ばします。設定後にHDMI対応機器を接続したときは、「オフ」に戻してください。

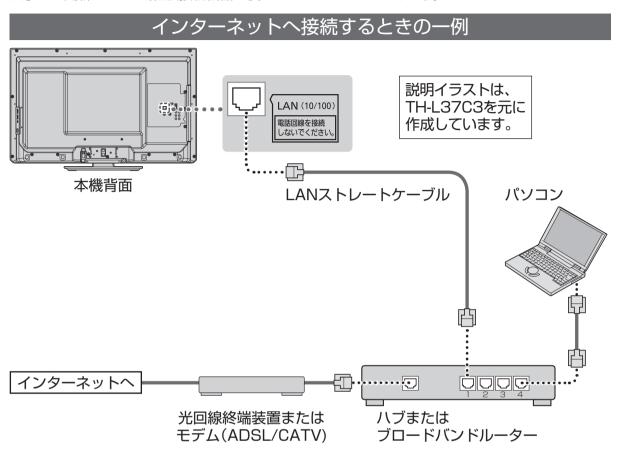
■ビデオ入力端子について

●DVDプレーヤーなどの映像と音声の出力端子に接続します。

D4映像入力端子（ビデオ入力1のみ）（TH-L32C3の場合はビデオ入力）
●映像入力端子よりも、色のにじみが少なく高画質に再生できます。
●DVDプレーヤーなどの「D1～D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
●ビデオデッキなどの「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子ーピン映像コード（RP-CVCDG15：別売品）で接続できます。
●対応している信号：480i、480p、720p、1080i
●「D4映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「D4映像」の画像が優先されます。
●「D4映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

インターネットへの接続・設定

本機をインターネットに接続することにより、最新の内蔵ソフトウェアをインターネット経由で入手して更新したり、当社製接続機器の使いかたをインターネットで調べたりすることができます。

インターネットへ接続するときの一例

●上記は一般的な接続例です。詳しくはご契約回線の利用規約などに従い接続・設定をしてください。
●ルーター機能がない光回線終端装置またはモデムをご利用の場合は、ブロードバンドルーターをご用意ください。
光回線終端装置またはモデムにルーター機能が付いているかご不明な場合は、光回線終端装置またはモデムの取扱説明書をご確認いただくか、ご契約の回線事業者またはプロバイダーにお問い合わせください。
（ルーター機能がついている機器が2台以上あると、正常に動作しません。）

インターネット

接続後の設定

■かんたんネットワーク設定
●32ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。
（かんたんネットワーク設定の内容☞53ページ）
●個別に設定するとき：IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定（?ガイド753）

■設定に必要なとき
●本機のMACアドレスを確認する。（?ガイド753）

お知らせ

●光ファイバー（FTTH）、CATVなどのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途ご契約（有料）していただく場合があります。詳しくは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。
●プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
●電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
●ハブまたはブロードバンドルーターは、10BASE-T、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。（100BASE-TX用の機器を使用する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。）
●本機ではインターネット（LAN）接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
●本機に接続したDHCPでのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を切ると、各機器に割り当てられたIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
●SDメモリーカード挿入口に、無線LAN対応カードを接続しても使えません。

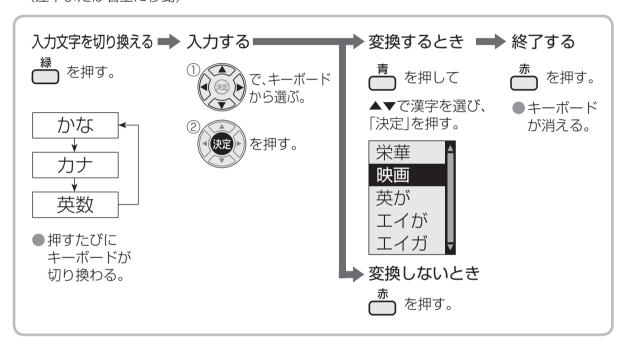
文字を入力する

文字入力方法には2種類あります。

画面キーボード方法(工場出荷時)

画面上にキーボードを表示して◀▶▲▼で文字や項目を選び、入力します。

●キーボードを消すときは、「赤」ボタンを押す。

●キーボードの位置を移動させるときは、◀▶▲▼で「キーボード移動」を選び、「決定」を押す。(左下または右上に移動)

■文節を分けて変換するとき
「青」ボタンで変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。 えいが

■記号を入力するとき
「きごう」と入力して「青」ボタンを押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

■「予測方式」のとき(「予測方式」/「通常方式」の切り換えは☞48ページ)
①文字を選び、「決定」を押すと、キーボード上に候補を表示。
②◀▶▲▼で選び、「決定」を押す。

●「青」ボタンを押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

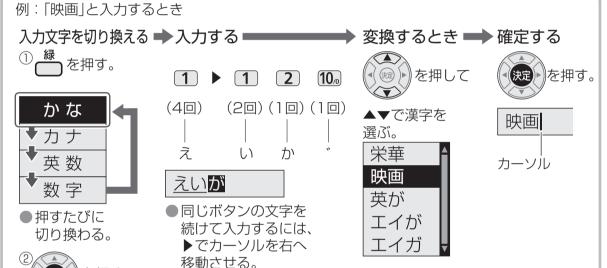
■全角の英数字を入力するとき
英数モード(半角)で入力し、「青」ボタンを押して変換する。

■文字を追加するとき ①キーボードの「入力位置移動」を選び、「決定」を押す。
②追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、「決定」を押す。
③文字を入力する。

■文字を削除するとき 上記「文字を追加するとき」①のあと、削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

リモコンボタン(携帯電話)方法(文字入力方法の選択☞48ページ)

リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。

●文字入力一覧表(☞49ページ)

■文節を分けて変換するとき
▲▼で変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。 えいが

■記号を入力するとき
「きごう」と入力して▲▼を押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

■「予測方式」のとき
(「予測方式」/「通常方式」の切り換えは☞48ページ)
①1文字入力すると候補を表示。
②▼▲で選び、「決定」を押す。

●「緑」ボタンを押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき
英数モード(半角)で入力し、▲▼で変換する。

■文字を追加するとき 追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する。

■文字を削除するとき 削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

文字を入力する（つづき）

文字入力方法を選ぶ

①メニュー を押す

②▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す

③▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す

VIERA ビエラ メニュー
画質を調整する / 音声を調整する / 番組を探す/予約する / 設定する / エコナビ
画面の設定 / 音声の設定 / システム設定 / 初期設定 / 情報を見る

④▲▼で「文字入力設定」を選び、「決定」を押す

システム設定
字幕の設定 / 制限項目設定 / 文字入力設定 / 選局対象 すべて

⑤▲▼で「入力方法」を選び、◀▶で「リモコンボタン」または「画面キーボード」を選ぶ

文字入力設定
入力方法 リモコンボタン
変換方式 通常方式

画面上にキーボードを表示させて入力したいときは「画面キーボード」を選ぶ（☞46ページ）

（終わったら 戻る を数回押す）

変換方式を選ぶ

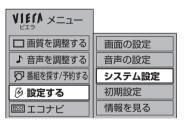
①メニュー を押す

②▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す

③▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す

④▲▼で「文字入力設定」を選び、「決定」を押す

システム設定
字幕の設定 / 制限項目設定 / 文字入力設定 / 選局対象 すべて

⑤▲▼で「変換方式」を選び、◀▶で「通常方式」または「予測方式」を選ぶ

文字入力設定
入力方法 リモコンボタン
変換方式 通常方式

1文字の入力で変換候補を表示したいときは「予測方式」を選ぶ（☞46、47ページ）

（終わったら 戻る を数回押す）

リモコンボタン方法での文字入力一覧表

ボタン	かな	カナ	英数	数字
1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : ˜ _ 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
4	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	― , ; ’ ” ? ! ( ) & ¥ 0	0
11	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
12	改行	改行	改行	#

● ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは 1 を2回押す）
未確定の文字があるときに 12 を押すと、表の逆順で文字が変わります。

● 濁点（゛）や半濁点（゜）を入力するときは、文字に続けて 10 を押す。

メニュー一覧

ガイド ? と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。

操作のしかた

例:「接続機器関連設定」

メニュー を押す ➡ 「設定する」を選び、「決定」を押す ➡ 「初期設定」を選び、「決定」を押す ➡ 「接続機器関連設定」を選び、「決定」を押す

※印はTH-L37C3にのみ表示される項目です。

メニュー	内容	参照
画質を調整する	番組に合わせて、画質をお好みで調整する。(映像メニュー・バックライト・ピクチャー・黒レベル・色の濃さ・色あい・シャープネス・液晶AI・色温度・ビビッド・超解像・NR・HDオプティマイザー・明るさオート・テクニカル)	? 301
音声を調整する	番組に合わせて、音声をお好みで調整する。(音声メニュー・バス・トレブル・バランス・サラウンド・音量オート・イコライザー・低音補正・音量補正)	? 311
番組を探す/予約する	見たい番組を探したり、録画予約する。(番組表で・注目番組一覧・今放送中から・ジャンル別に・キーワードで・人名で・時間指定予約で・予約一覧)	? 405
設定する		
画面の設定	画面の垂直(上下)の位置やサイズを微調整する。(垂直位置/サイズ・水平表示領域・HD表示領域・セルフワイド・ID-1検出・ED2検出・3次元Y/C分離・480p色マトリックス・サイドカット固定・デジタルシネマリアリティ・Wスピード※)	? 360
音声の設定	イヤホンの音声、音声ガイドの設定をする。(スピーカーとイヤホン音声の同時出力・ヘッドホン/イヤホン音量・音声ガイドの設定)	? 365 ? 411
システム設定		
字幕の設定	字幕や文字スーパーを表示する。(字幕・字幕言語・文字スーパー・文字スーパー言語)	? 380
制限項目設定	視聴できる番組を制限する。(視聴可能年齢・暗証番号変更・暗証番号削除)	? 397
文字入力設定	文字入力の方法を選ぶ。(入力方法・変換方式)	48ページ
選局対象	チャンネル順送りボタンで表示できるチャンネルを選ぶ。	? 380
タイトル表示	選局時に、番組のタイトルを表示する。	? 380
時計表示	画面に時刻を表示する。	? 380
表示の設定	メニューの表示のしかたを選ぶ。(アニメーション)	? 380
録画・視聴設定	次回以降の放送を自動的に予約する設定を行う。(探して毎回予約)	? 348

メニュー	内容	参照
設定する(つづき)		
初期設定		
かんたん設置設定(「決定」を3秒以上押す)	引っ越したときなど、設置設定を画面に従って順にやり直す。	32、52ページ
かんたんネットワーク設定(「決定」を3秒以上押す)	引っ越したときなど、ネットワーク設定を画面に従って順にやり直す。	32、53ページ
設置設定(「決定」を3秒以上押す)	受信する放送局の修正やアンテナレベルの調整などを行う。(受信対象設定・チャンネル設定・番組表設定・地域設定・受信設定・クイックスタート・B-CASカードテスト)	? 703
ネットワーク関連設定(「決定」を3秒以上押す)	ネットワーク機器を接続するときの設定を行う。[接続テスト・IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定]	? 798
省エネ設定	使わないときに自動的に電源を切る。(無信号自動オフ・無操作自動オフ)	? 350
接続機器関連設定	ビエラリンク(HDMI)対応機器や外部機器を接続したときの設定を行う。[ビエラリンク(HDMI)設定・HDMI RGBレンジ設定・HDMI画質連動設定・HDMI音声入力設定・ビデオ入力表示書換・入力自動スキップ・HDMIスキップ]	40ページ ? 823
自動更新設定	デジタル放送からの情報ダウンロードの方法を選んだり、ソフトウェアの更新確認を行う。(放送ダウンロード予約・ソフトウェアの更新通知・ソフトウェアの更新確認)	? 750
設定リセット(「決定」を3秒以上押す)	廃棄時などに個人情報をすべて削除する。(個人情報リセット)	? 742
情報を見る	デジタル放送からのお知らせや、本機の情報などを見る。(放送メール・B-CASカード・ID表示・ボード)	? 160
エコナビ		
エコナビ	本機および周辺機器を制御して消費電力を低減する。	? 866
エコナビ表示	エコナビ動作時の表示をする。	? 867
放送メール	未読の情報があるときのみ表示。	? 160
ネットで使い方ガイド	インターネット上の使い方ガイドを見る。(インターネットの接続とIPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定が必要)	? 201
画面モード設定	画面サイズを選ぶ。 ●ハイビジョン映像の場合(フル、サイドカットセルフワイド、サイドカットノーマル、サイドカットジャスト、サイドカットズーム、サイドカットフル) ●ハイビジョン映像以外の場合(セルフワイド、ノーマル、ジャスト、ズーム、フル)	? 921
オンタイマー	タイマーで自動的に電源を入れる(オンタイマー「切」「入」・時刻・時刻読み上げ設定・音量・放送/入力・チャンネル) 時刻読み上げを中止する(時刻読み上げ中止)	? 357

メニュー一覧（つづき）

※かんたん設置設定、かんたんネットワーク設定の内容は、「画質を調整する」や初期設定の「設置設定」と「ネットワーク関連設定」で個別に変更することができます。（☞50ページ）
※設定する必要がない項目は、画面の表示に従って次の項目に進むことができます。

「かんたん設置設定」の内容

項目	内容	設定項目
接続確認画面（お買い上げ後、最初の設定時にのみ表示されます）	画面の表示に従って、アンテナ線の接続、B-CASカードの挿入、接続機器を確認してください。	—
画質調整設定画面	ご家庭用：映像メニューを「スタンダード」に設定します。 店頭用　：映像メニューを「ダイナミック」に設定します。	映像メニュー
郵便番号入力/県域設定/市外局番設定	画面に従って、お住まいの郵便番号、都道府県、市外局番を入力してください。	地域設定
B-CASテスト	B-CASカードのテストを行います。 正しく終了すると、デジタル放送の設定ができます。	B-CASカードテスト
地上波放送設定	リモコンの［地上］ボタンで地上デジタル放送に切り換えるか、地上アナログ放送に切り換えるか選択します。	受信対象設定
地上アナログ放送のチャンネル設定	（「地上波放送設定」で「地上アナログ」を選んだときのみ表示されます。） 地上アナログ放送のチャンネル設定を行います。	チャンネル設定
地上デジタル放送のチャンネル設定	（「地上波放送設定」で「地上デジタル」を選んだときのみ表示されます。） 地上デジタル放送のチャンネル設定を行います。	チャンネル設定
衛星アンテナ電源設定	衛星アンテナ電源の設定と、受信状態の確認を行います。 確認の結果によっては、アンテナ自体の調整や再設定が必要になることがあります。	受信設定
かんたん設置設定終了	設定の結果を表示します。 （続けてかんたんネットワーク設定をすることができます。）	—

「かんたんネットワーク設定」の内容

項目	内容	設定項目
接続確認	ネットワーク、インターネットの接続状態を表示します。 結果によっては、設定画面（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS、プロキシアドレス、プロキシポート、Gガイド受信機能）に進みます。 **この設定を終了すると、「ネットで使い方ガイド」・インターネットからのGガイド受信機能を使うことができます。**	接続テスト、IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定、番組表設定（通信によるGガイド受信）
設定終了	かんたんネットワーク設定を終了します。	—

故障かな!?／商標などについて

■故障かな！？（電子説明書の「困ったとき」もあわせてご覧ください。）

●映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった

・本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。
万が一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、一度テレビ本体の電源ボタンで「切」にして、5秒以上後に再度電源を「入」にしてください。
※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。

●電源が入らない

・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？（☞28ページ）
・リモコンの場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか？（☞19、20、21ページ）

●電源ランプが点滅する

・テレビ本体の電源ボタンで「切」にして、5秒以上後に再度電源を「入」にしてください。
（リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。）
上記の操作で直らないときは、故障の可能性があります。販売店または62ページの連絡先にご相談ください。

●リモコンで操作できない

・電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？（☞18ページ）
・リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？（☞19ページ）
・受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。
→本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。（☞19、20、21ページ）

●音声ガイドが実際と異なる読み上げを行う

●実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

デジタル放送からのダウンロードにより、常に制御プログラムを最新の状態にしてください。
テレビの視聴後は、リモコンで電源を「切」にすることをおすすめします。
リモコンで電源「切」の間に、最新の制御プログラムが自動受信されます。（?ガイド750）

■商標などについて

●SDXCロゴはSD-3C,LLC.の商標です。●CP8 PATENT　●HDAVI Control™は商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
●ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
●Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
●米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。当社はテレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn"©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
●富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2011
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

■**キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布(綿・ネル地・クリーニングクロスなど)で軽くふき取ってください**

●化学ぞうきんは使用しないでください。
●市販のクリーニングクロス(テレビ用)をご使用の際、下に記載したものは使用しないでください。ひび割れなどの原因になることがあります。
※成分表示に流動パラフィンや界面活性剤と記載があるもの、ウェットタイプ、クリーニング液を使うもの
●ひどい汚れは、ほこりをはらったあと、水で100倍程度に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

■**スプレー洗剤などは直接かけないでください。**

水が内部に入ると、故障の原因になります。

キャビネットについて

■**殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください。**

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。

液晶パネルについて

■**液晶パネル表面は特殊な加工をしています。**

かたい布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

設置されるとき

■**直射日光を避け、熱器具から離す**

●キャビネットの変形や故障の原因になります。

■**機器相互のかんしょうに注意する**

●電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけます。

■**接続は電源を“切”にしてから行う**

●各機器の説明書に従って、接続してください。(録画機器、ゲーム機器など)

■**アンテナは定期的に点検を行う**

●風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。
映りが悪くなったら、販売店にご相談を。

■**良好な画面で見るために**

●アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

長時間使用しないときは

■**電源プラグをコンセントから抜いてください**

●リモコンで電源を切った場合、約 0.1 W、
本体の電源を切った場合、
TH-L37C3は約 0.07 W、
TH-L32C3は約 0.09 W
の電力を消費します。

ご使用になるとき

■**適度の音量にして隣り近所へ配慮する**

●特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
●音量を下げると、消費電力や音のひずみも少なくなります。

■**見る距離と部屋の明るさは**

●画面の縦の長さの約3倍程度、また、新聞が楽に読める明るさで。

■**本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因になります。**

●部屋の温度になじむまで本体の電源を「切」にしておいてください。(約2～3時間)
●温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所(湯気が立ち込めている場所など)には設置しないでください。

液晶パネルについて

■**画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません**

●液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

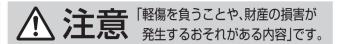
■**残像が発生する場合があります**

●静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

電源プラグを抜く

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

・煙が出たり、異常な臭いや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水などの液体や異物が入った
・本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

●すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
●お客様による修理は危険ですから、おやめください。
●電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

水ぬれについて

水ぬれ禁止

■上に花びん、コップなどを置かないでください

火災・感電の原因になります。

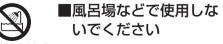
水場使用禁止

■風呂場などで使用しないでください

火災・感電の原因になります。

誤飲防止について

■メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。
●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

異物について

■内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください

火災・感電の原因になります。
●特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグについて

■破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）

火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は、販売店にご依頼ください。

■傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください
■本機に付属のもの以外は使用しないでください（TH-L32C3の場合）

火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は、販売店にご依頼ください。

■交流 100 V以外で使用しないでください
■コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください
■たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。

ぬれ手禁止

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください

感電の原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

設置について

■不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

雷について

接触禁止

■雷が鳴りだしたときは、アンテナ線や本機には触れないでください

感電の原因になります。

分解禁止について

分解禁止

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意
サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠注意

本機の取り扱いについて

■強い力や衝撃を加えないでください
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

■乗らないでください
■ぶらさがらないでください
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

■上に物を置かないでください
落下してけがの原因になることがあります。

■付属のスタンドは本機以外には使用しないでください
けがの原因になることがあります。

■接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください
火災・感電の原因になることがあります。

■接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理を行ってください
火災・感電・けがの原因になることがあります。

設置について

■通風孔をふさがないでください
■据置きスタンド使用時は本機下面と床面との空間をふさがないでください
■風通しの悪い狭い所で使用しないでください
■あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かないでください
火災・感電の原因になることがあります。

■付属の転倒・落下防止部品を使用して固定してください
■ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止めてください
けがの原因になることがあります。
●転倒・落下防止処置は28ページ参照。

■本機の上面、左右、後面は10 cm以上の間隔をおいて据えつけてください
火災の原因になることがあります。

■据置きスタンドは、指定の手順以外では取り外さないでください
倒れたりしてけがの原因になることがあります。
(24、26ページ参照)

⚠注意

電池の取り扱いについて

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

■極性(プラス⊕とマイナス⊖)を逆に入れないでください
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
挿入指示通り正しく入れてください。(18ページ参照)

移動について

■移動させる前に接続線などをはずしてください
(電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線や転倒・落下防止部品)
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

■開梱や持ち運びは２人以上で行ってください
落下してけがの原因になることがあります。

■運搬や移動をする場合は、指定した個所を保持して行ってください
落下してけがの原因になることがあります。

電源プラグについて

電源プラグを抜く

■長期間使用しないときはコンセントから抜いてください
電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因になることがあります。

■電源プラグを持って抜いてください
電源コードを引っぱると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

お手入れについて

■通風孔に付着したゴミをこまめに取り除いてください
長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。
●湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。なお、内部の掃除依頼、費用については、販売店または62ページの連絡先にご相談ください。

電源プラグを抜く

■お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください
感電の原因になることがあります。

アンテナについて

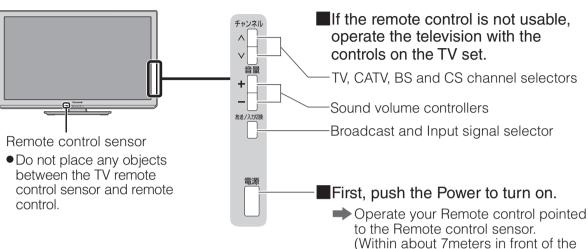
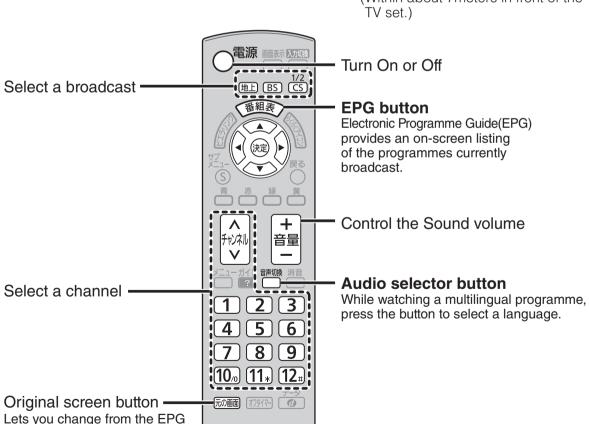
■アンテナ工事は、販売店にご相談ください
アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
●送配電線から離れた場所に設置してください。
●BS、CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

Quick Reference Guide

Basic Operations

- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance, what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.
- The instructions and illustrations indicated below are for the TH-L37C3.

Lets you change from the EPG and menu screens back to the broadcast screen for the selected channel.

仕様

●このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体			
品番		TH-L37C3(37V型)	TH-L32C3(32V型)
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
使用電源		AC100 V　50/60 Hz	
消費電力		72 W	53 W
		本体電源「切」時　約 0.07 W、リモコンで電源「切」時　約 0.1 W(データ取得時※は除く)(クイックスタート「入」設定時、またはデータ取得時※　約 10 W)	本体電源「切」時　約 0.09 W、リモコンで電源「切」時　約 0.1 W(データ取得時※は除く)(クイックスタート「入」設定時、またはデータ取得時※　約 9 W)
		※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき	
年間消費電力量		76 kWh/年(スタンダード時)	42 kWh/年(スタンダード時)
区分名		DG(FHD、液晶倍速、付加機能なし)	DN(FHD以外、液晶ノーマル、付加機能なし)
受信可能放送		VHF：ch1～12／UHF：ch13～62／CATV：c13～c63／BSデジタル 110度CSデジタル／地上デジタル(CATVパススルー対応)　※ワンセグ放送は除く	
音声実用最大出力		20 W(10 W+10 W)JEITA、スピーカー(フルレンジ：4.2 cm×16 cm 2個)	20 W(10 W+10 W)JEITA、スピーカー(フルレンジ：φ6.5 cm 2個)
液晶ディスプレイ(アスペクト比16:9)		37V型	32V型
		画素数：水平1920×垂直1080	画素数：水平1366×垂直768
画面寸法		幅 81.9 cm　高さ 46.1 cm 対角 94.0 cm	幅 69.8 cm　高さ 39.2 cm 対角 80.0 cm
動作使用条件		周囲温度：0℃～40℃、相対湿度：20%～80%(結露なきこと)	
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力1～2 映像：1 V[p-p](75 Ω) 音声：左・右　0.5 V[rms]	●ビデオ入力 映像：1 V[p-p](75 Ω) 音声：左・右　0.5 V[rms]
	D端子 ビデオ関連	●D4映像〔Y：1 V[p-p](75 Ω)、PB/CB：0.7 V[p-p](75 Ω)、PR/CR：0.7 V[p-p](75 Ω)〕 音声：左・右 0.5 V[rms](音声はビデオ入力1と兼用)(TH-L32C3の場合はビデオ入力) 入力(480i、480p、720p、1080i)自動切換式	
	衛星関連	●BS・110度CS-IF入力(75 Ω) 兼 衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力	
	HDMI入力	●HDMI端子 1系統 (本機はビエラリンク[HDMI]Ver.5に対応しています)対応信号について(☞40ページ)	
	その他	●LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) ●ヘッドホン/イヤホン端子(16～32 Ω推奨) ●SDメモリーカード挿入口(SDXCメモリーカード対応)	
外形寸法	スタンド部含む	幅 89.0 cm　高さ 58.3 cm 奥行 26.0 cm	幅 77.9 cm　高さ 53.6 cm 奥行 20.6 cm
	本体のみ	幅 89.0 cm　高さ 54.8 cm 奥行 7.5 cm	幅 77.9 cm　高さ 50.2 cm 奥行 11.0 cm
質量	スタンド部含む	約 14.5 kg	約 10.0 kg
	本体のみ	約 12.0 kg	約 9.0 kg
キャビネット材質		前面：樹脂　背面：金属	前面：樹脂　背面：樹脂、金属

●年間消費電力量：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
●区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分の名称です。
●テレビのV型(37V/32V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
●TH-L37C3は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

リモコン(品番：N2QAYB000569)	使用電源	DC3 V (単3形乾電池2コ)	操作距離	約 7 m以内 (テレビ正面距離)
	質量	約 140 g (乾電池含)	操作範囲	左右各 約 30° 以内 上下各 約 20° 以内

●Quick Reference Guide／仕様

保証とアフターサービス

修理・使いかた・お手入れ などは…

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(　　) −
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

54ページの故障かな !? と電子説明書（トップページ）の困ったときに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ
●品　番	TH-
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間 ： お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

※「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

●修理に関するご相談は………………

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK） **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……………………………

パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK） **0120-878-981**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高　山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天　草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0510